

大学名	広島大学		
University	Hiroshima University		
学部/研究科	大学院医歯薬保健学研究科疫学・疾病制御学		
Faculty/Department	Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Department of Epidemiology/Disease Control and Prevention		
研究指導者	田中純子	職名	教授
Research Advisor	Junko Tanaka	Position	Professor
帰国留学生	ドウ ホイ ソン		
Former International Student	Do Huy Son		
派遣期間	2018年7月31日 ~2018年8月6日(7日間)		
Period of Stay	7 days (July 31, 2018 - August 6, 2018)		

### <帰国留学生プロフィール/Profile>

国籍	ベトナム ビントゥアン州ファンティエツ
Nationality	Phan Thiet, Binh Thuan Province, Vietnam
所属機関	ビントゥアン医科大学 副学長
Affiliation	Binh Thuan Medical College, Vice-Principal
現在の職名	副学長
Position	Vice-Principal
研究分野	疫学・疾病制御学
Major Field	Epidemiology, Infectious Disease Control and Prevention



ビントゥアン医科大学訪問  
Visit to Binh Thuan Medical College

### <研究指導者からの報告/Research Advisor Report>

#### ① 研究指導概要 / Outline of Research Guidance

ホーチミン市保健省スタッフに日本の肝炎・肝がんの予防対策に関する最新の情報を提供し、感染予防や疫学研究への取り組みの促進を図った。帰国留学生（Dr. Son）が実施しているHBV感染率調査のデータ解析・評価方法について助言を行い、新たな研究計画の立案につなげた。ビントゥアン医科大学の学長と面会し、広島大学との研究協力について懇談した。また、広島大学における留学生の受け入れ体制（奨学金や指導プログラム）を紹介した。ビントゥアン州保健局長を訪問し、Dr. Sonが実施しているベトナムにおけるHBV感染予防研究に対する行政からの理解と協力を仰いだ。保健局長からは他の公衆衛生に関する研究についても協力が仰がれた。ビントゥアン医科大学ならびにビントゥアン州総合病院で、「日本における肝炎・肝がん対策」についてセミナーを開催し、医科大学の教職員ならびに病院の医療関係者に最新の情報を提供し、知識と理解を深めた。

#### ② 研究指導の成果 / Results of Research Guidance

Dr. Sonは、B型肝炎ウイルス（HBV）感染率が高く、HBV感染を原因とした肝がん死亡が多いベトナムにおける一般住民集団のHBV及びHCV感染状況を把握する研究を継続して行っており、現在は、小児及び妊婦のHBV感染率の調査研究を実施している。今回の研究指導では、その研究デザインと進捗状況を確認するとともに、データの評価・解析方法について助言ならびに提案を行った。これまで続けてきた研究協力をさらに充実発展させ、新たな論文作成につなげることや、さらなる研究資金を獲得するプランを検討した。肝炎・肝がんの予防対策に関しては、我が国の最新情報に基づいたフォローアップ指導を行った。Dr. Sonらが設立を計画している疾病制御センター（CDC）については、実際の経験に基づいた助言を行い、設立計画の早期実現を促した。

#### ③ 訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.

ホーチミン市保健省を訪問した際には、日本の肝炎・肝がんの予防対策に関する最新の情報を提供し、感染予防や疫学研究への取り組みの促進を図った。

ビントゥアン医科大学の学長と懇談し、Dr. Sonとこれまで進めてきたベトナムにおけるHBV感染予防に関する研究協力を更に強化発展させて行くことを確認した。Dr. Sonらが設立を計画している疾病制御センター（CDC）についても、引き続き経験に基づいた助言を行っていくことを約束した。また、ビントゥアン医科大学からの留学生を広島大学へ受け入れる体制について説明した。今回同行した、広島大学大学院医歯薬保健学研究科の大学院生2名（ミャンマーからの博士課程留学生と日本人PhD留学生）が、指導プログラムの実際を話した。また、広島大学医学部4回生2名を、今秋、2～4週間、研修生としてビントゥアン医科大学に受け入れてもらうプログラムについては、その詳細を詰めた。ビントゥアン医科大学の教職員を対象に「日本における肝炎・肝がん対策」についてのセミナーを行い、感染予防や疫学研究への取り組みの促進を図った。

ビントゥアン省保健局長を訪問し、ベトナムにおけるHBV感染予防のためにDr. Sonが実施している研究について、行政からの理解と協力を仰いだ。保健局長からは、その他の公衆衛生に関する研究についても協力を求められた。

ビントゥアン省総合病院で、医療関係者を対象に「日本における肝炎・肝がん対策」について講演を行い、最新の情報を提供することにより、肝炎ウイルス感染率の高いベトナムにおける感染予防のための知識の普及と実践を図った。

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

**①研究指導の成果 / Results of Research Guidance**

I learnt a lot from Professor Tanaka about: The significance of epidemiological researches. Differences between community and hospital based samples. Standards for laboratory analysis. Dried blood spots usage. Sending serum samples to Hiroshima University for further analysis.

**②今後の計画 / Further Research Plan**

Start a research among pregnant women and children: Sending serum sample and raw data to Hiroshima University for further research cooperation.  
Start a research among ethnic minority in Binh Thuan with the support from Hiroshima University such as equipment, laboratory testing, statistical analysis etc.

**③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance**

I am so grateful to Professor Tanaka for taking time to give research guidance which is very helpful for me to develop the epidemiological research on disease control and prevention. I am also grateful to JASSO for its financial support.  
I wish such research guidance will continue and our co-operative researches will be successfully done.



ビントゥアン省総合病でのセミナー  
Seminar at the Binh Thuan General Hospital



ビントゥアン省保健局長との懇談  
Meeting with the Director of Binh Thuan's Department of Health (BTDH)